

2025年2月28日

各 位

会 社 名 株式会社ジーフット
代 表 者 代表取締役兼社長執行役員 木下 尚久
コード番号:2686
東証スタンダード市場・名証プレミアム市場
問合わせ先 経営企画・財務経理本部長 中村 好昭
電話番号 03-5566-8215

親会社からの財務支援による特別利益計上に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の親会社であるイオン株式会社より財務支援を受領し、2025年2月期第4四半期会計期間(2024年12月1日～2025年2月28日)に特別利益として計上することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社においては、新型コロナウイルス感染症の影響により毀損した自己資本の増強と安定した財務基盤による経営基盤の再構築を実現させるべく、4カ年(2023年2月期～2026年2月期)の事業再生に取り組んでおります。当連結会計年度は「成長戦略へ舵」を経営方針に据え、2025年2月期重点取り組み(事業構造改革、MD構造改革、組織・コスト構造改革、EC事業の成長と拡大)を軸にした成長軌道回帰への取り組みを進めてまいりました。

しかしながら、2025年1月10日開示「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、当第3四半期連結会計期間(9～11月度)においては、ブーツを始めとした秋冬商品の販売不振により売上高が減少、それに伴い売上総利益高が前年同期実績から6億37百万円減少いたしました。同期間の販売費及び一般管理費を前年同期実績から4億17百万円削減させたものの、売上総利益高の減少を補うまでには至らず、当第3四半期連結累計期間においては親会社株主に帰属する四半期純損失は7億8百万円、純資産の額は54億53百万円の債務超過の状況に至っております。

また、足元の第4四半期連結会計期間(12～2月度)においては売上総利益率、販売費及び一般管理費は前年同期実績から改善見込みではあるものの、既存店売上高については前年同期実績を下回る見通しとしておりますが、2025年2月21日開示「第三者割当によるB種種類株式発行に係る払込完了および発行ならびに資本金および資本準備金の額の減少のお知らせ」の通り2025年2月期末時点で債務超過を解消できる見込みです。

以上の状況及び当社の2025年2月末日までの確実な債務超過解消による上場維持基準(純資産)への適合と成長軌道回帰に向けた構造改革の為の運転資金確保を踏まえた上で、イオン株式会社と協議・交渉を重ねてきた結果、イオン株式会社より13億円の財務支援を受領し、特別利益として計上いたします。なお、本取引は支配株主との取引等に該当しますが、当社は本取引について、イオン株式会社からの経営の独立性の確保に努めており、且つ、本取引を実行することにより上場維持基準(純資産)への適合が確実なものとなることから、本取引が少数株主にとって不利益なものではないと判断しております。

2. 業績に与える影響

今後の見通しにつきましては、業績予想の修正等が必要と判断された場合には、速やかにお知らせいたします。また、来期以降の当社連結業績への影響は軽微であると見込んでおりますが、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかに公表いたします。

以 上